

# 子ども・若い世代・市民の方からのメッセージ

## 1 子どもたちから

P65

～「生きものいっぱい！地球大好き！」として作文を募集。応募総数 160 作品。  
年代別で受賞作品を選定。ここでは最優秀作品をご紹介します。～

## 2 若い世代から

P68

～あいち造形デザイン専門学校のご協力により、「2050 年の名古屋」へ想いを込めた  
206 枚の絵画が出来上がりました。その中からご紹介します。～

(『脱温暖化 2050 なごや戦略』シンポジウム(H21.8.22)」に出演された東邦高校の学生の作品も掲載)

## 3 市民の方から

P73

～市民意見交換会(H20.11.16)、パブリックコメント(H21.8.11～9.25)などで、  
市民の方からいただいた主なご意見やアイデアをご紹介します。～

# 1 子どもたちから

(小学生低学年の部)

題 「つくしとり」

名古屋市立大野木小学校  
石川ゆいは



さむいふゆがすぎて、すこしあったかくなってくると、わたしは、まい年、かならず行くところがあります。それは、しょうない川のていぼうです。

小さな時から、いつもおじいちゃんとおばあちゃんといっしょに、つくしをさがしに行くのです。

ちょこんとあたまを出したつくしは、わたしにこう言っているみたいです。  
「あたたかいかぜがふいてきたし、さくらの花もさいてくるよ。もう春がやってきたよ。」

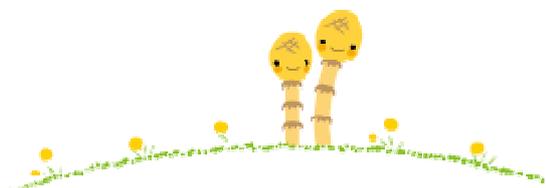
つくしたちは、まぶしすぎるくらいの大よのひざしをあびて、まるで、きょうそうしているかのように大きくなっています。

わたしは、春が大好きです。ちょうちょうもたのしそうにとんでいるし、草もあたらしいめを出したり、お花もいっぱいさいてきて、心がワクワクします。

わたしが大きくなって、お母さんになった時にも、子どもといっしょに、つくしをとりに行けるといいなあと 생각합니다。

そのためには、わたしも川やていぼうをよごさないようにきをつけたり、ゴミを見つけた時には、ひろったりして、川をきれいにしていきたいと思っています。

らい年の春も、つくしとりに行くのをたのしみにしています。



## (小学生低学年の部)



### 題 「ぼくが議長だ！」



名古屋市立表山小学校

みつべゆうすけ  
光部優佑

「エアコンを出来るだけひかえて、うちわか扇子を使えばいいんじゃない？」と姉が言いました。それを聞いた父も「涼しいかっこうをすれば、エアコンも最小限におさえられるね。」と賛成しました。

環境を守るためにどんなことが出来るだろう。ぼくが一人で考えた結果、思いついたのは、「マイバックをもって買い物に行く」

「ごみをきちんと分別する」

など6項目でした。もっとあるはずだと思い、父や母、姉に聞くことにしました。エアコンの話など、ぼくが気づかなかった6項目が追加され、合計は倍の12項目になりました。

「やっぱり一人よりみんなで考えた方がいい案がたくさんでるんだな。」と思いました。すると母が「環境を守るための行動も、一人でやるより、大勢でやった方が効果があがるんじゃない？」と言いました。

ぼくは、母の言うことはもっともだと思いました。そこでぼくは考えました。一人でやるより、家族でやる方がいいということは、家族でやるより、クラスのみんでやった方がいい。さらに、学校全体で、日本全体で、地球全体でやったらすごいことになるんじゃないかなと思いました。

では、それをするにはどうしたらいいか。いきなり地球全体といっても難しい。まず、小さい規模から始めていくことが大切だと思いました。その積み重ねがいずれは地球での取り組みに広がっていくのではないかと考えました。

今度は、母がぼくに提案しました。

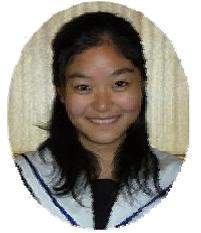
「月に一度、家族で環境をテーマにした会議を開いたらどうだろう。」すると父が、「それはいい考えだ。ただし、会議の議長は、言いだしっぺの優佑な。」と言いました。



## (中学生の部)

題 「<sup>にさんかたんそ ぜろ ごみ ぜろねん</sup>2酸化炭素・0・5ミ・0年 ~わたしたちが築いた未来~」

名古屋市立東星中学校 <sup>ゆかや はるか</sup>糠谷治香



41年後、2050年夏。空を見上げる。

真青ないい天気だ。鳥たちがきれいに整列し、大空を自由に羽ばたいている。

辺りでは、セミが大きな声で鳴いている。うるさいくらい元気がいい。太陽は眩しく優しい光を注ぐ。風が緑の葉を揺らす。濃い緑の木々はサワサワと歌っている。実に気持ちの良い夏だ。

家々の屋根は太陽の恵みを頂いている。人々が住む家の屋根には全てソーラーパワー、太陽光発電機が付いている。道路の脇には白い大きな風車。風力発電機が風の力を頂いているのだ。家庭の電気は全てこれらの電力で賄われている。車も公共交通機関も同じ、自然の電力がわたしたちの暮らしを支えてくれている。空気は澄み、思わず深呼吸してしまう。

41年前、1968年夏。母が生まれた年だ。この年に、祖父母は未来を思い描いた、それは電気で動く家庭用品の普及。テレビや冷蔵庫が家庭に当たり前にある便利な世の中だ。夏の暑さ、温度も自分たちでコントロールできる快適な空間。人々は社会の成長に全力を注ぐ。暮らしが便利になり生活が豊かになる。

「41年間で人間は社会を変えた。」

2009年夏。祖父母は思い描いた未来を実現した。そして確かに便利な社会になった。しかし大きな発展には予想しなかった問題が起きてしまった。それが地球温暖化だ。便利になった社会は地球に優しくなかったのだ。人間は便利さを優先し生物や植物への思いやりの心を忘れていたのだ。

今、わたしたちはその問題を認識している、このままではいけないことを承知している。便利さや速さを優先せず、常に地球の声に耳を傾け、自然の恵みを上手に頂かなければならないことを学んだ。これは未来へと続く道をつくる子どもたちの大切な課題だ。

わたしたちは、限りがある地球の資源を大切にしようとして行動を起こした。個人個人が環境問題を知り自分たちでもできるエコ活動を始めたのだ。私は、中学校の生徒会でエコ活動に取り組んでいる。生徒間で地球の環境を考え、限りある資源を回収しリサイクルしている。ペットボトルのふた、使用後の割りばし回収なども行っている。昨年は地域にも呼びかけたエコクーピオン回収で名古屋市の平和公園に二本の木を植樹できた。その苗はみんなで協力して出来た小さな思いやりの苗だ。

わたしが思い描く41年後、2050年の未来。それは祖父母が願った思いと同じ。わたしはその思い描く未来を実現する行動力を受け継いでいきたい。そして地球や世界の生き物、植物へも配慮した優しい環境を考え続け、行動していく。

木々の濃い緑の中、自転車で駆け抜けていく笑顔のおばさん。あれ？56歳のわたしだ！！



2050年の名古屋

～「駅そば生活」～



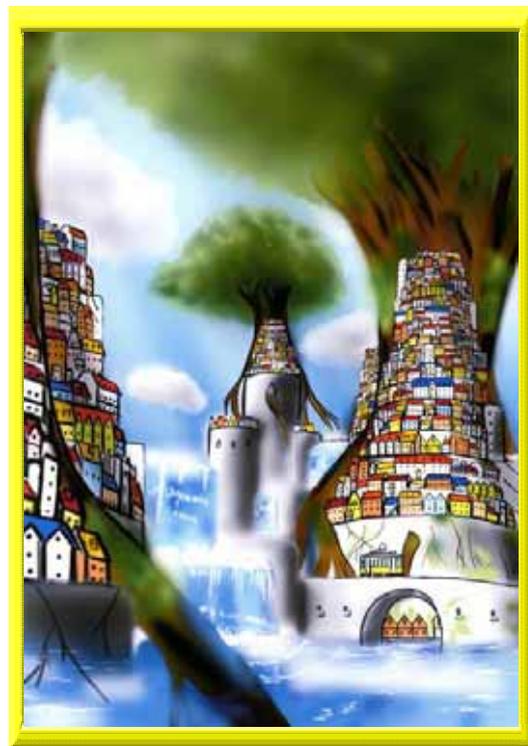
あいち造形デザイン専門学校  
岩本 有里子さん



「大きな建物に家族が何世帯もいる集合住宅は大好き！この町に住む人たちが楽しく快適に暮らせるように、見た目も明るく華やかにしました。木や花、川で子どもたちが遊べるような空間も作りました。少しでも緑を未来に残していきたい。」



「いつも町を眺めては空想しています。2050年、自分が住みたい町をイメージして描きました。水と森の緑と建物が共生する街。今、だんだん暑くなってきているので、エアコンなしでも涼しくするために、水と緑あふれる町に住みたい！」



あいち造形デザイン専門学校  
藤井 貴文さん



「都市開発が進んでいない、どこかにまだ残っている緑を残したいという想いを込めて描きました。川は、涼しさ・快適さ・美しさを表しています。2050年になっても、変わらず綺麗な街であり続けるために、皆でがんばっていきたい。」

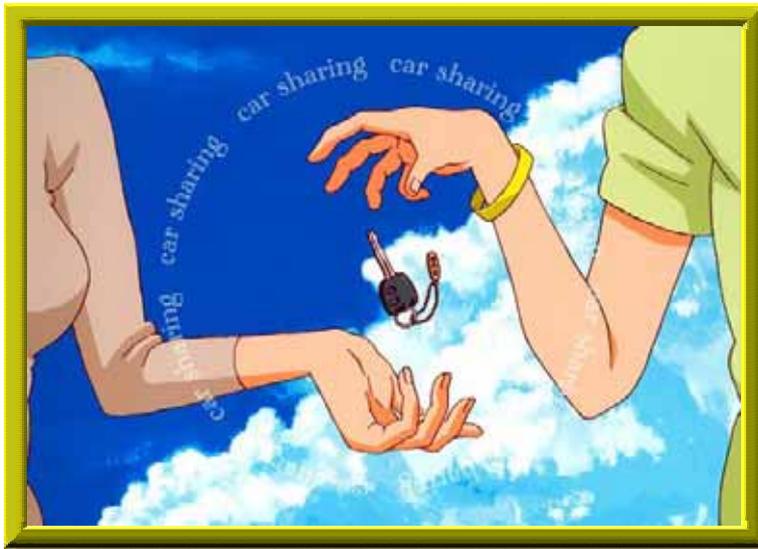
あいち造形デザイン専門学校  
石倉 功大さん



「都市、自然がうまく共存していけたらいいなという想いを込めました。田舎育ちなので、自然の中で遊んだ楽しい思い出がたくさんある。都市と自然が共存することで、温暖化問題も解決。自然の中で家族と楽しい思い出を作っていける街がいい。」



あいち造形デザイン専門学校  
田立 愛さん



「カーシェアリングすることで、地球にやさしい生活(物語)が始まるといいと思って描きました。文字の輪は人の輪を表現し、車のキーを中心に、人の繋がりも広がればという願いです。将来、温暖化で四季がなくなるのは嫌。好きなのは夏の青空。」

あいち造形デザイン専門学校  
加藤 名美さん



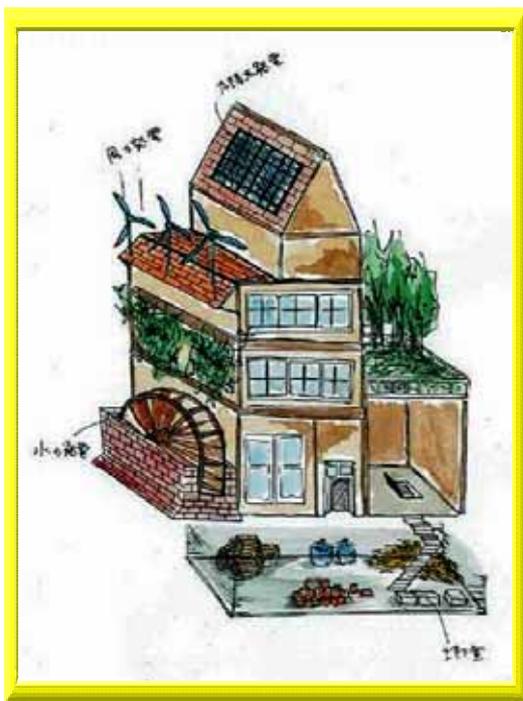
「緑豊かな、思わず歩きたくなる街を想像しました。今、温暖化が気になっています。身近なところからできること…徒歩だけでなく、電車や自転車を使った低炭素な生活をして、美しい名古屋をずっと残していきたいという願いを込めています。」



あいち造形デザイン専門学校  
小山 月菜さん

# 2050年の名古屋

## ～「低炭素」「住」「生活」すまい～



東邦高校  
伊藤 杏子さん



「ドイツの森の中の家をイメージしました。環境によいだけでなく、住んでみたい!と思える家を描きたかった。『誰かがやってくれる』ではなく、便利すぎず、自然を身近に感じることで、環境に対する意識を上げていきたいと思います。」

似顔絵!



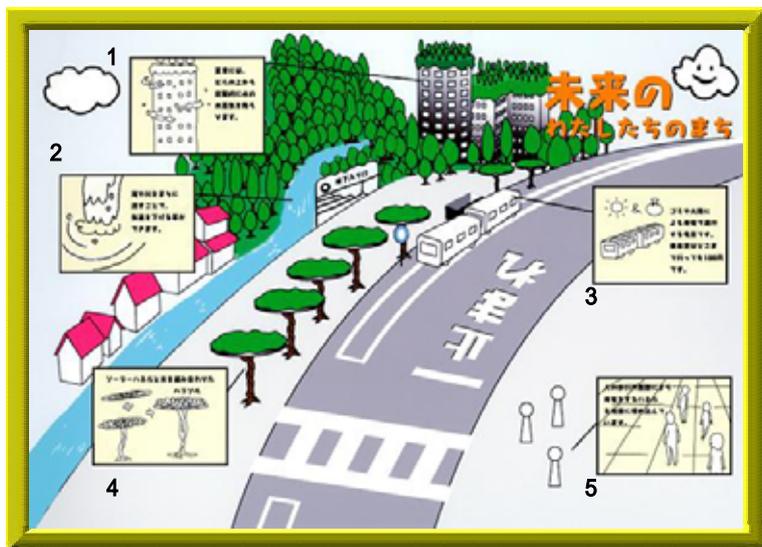
「人間にとって2050年は遠い未来だとしても、地球にとってはわずかな時間。今ある技術をより進歩させて、冒険心をもって描きました。遊び心がないと楽しくない、続かない。この絵の中で真っ先に自分の家に欲しいのはペンギンの冷蔵庫。」



あいち造形デザイン専門学校  
福田 恵美さん

# 2050年の名古屋

# ～「低炭素」「住」「生活」「エネルギー」～



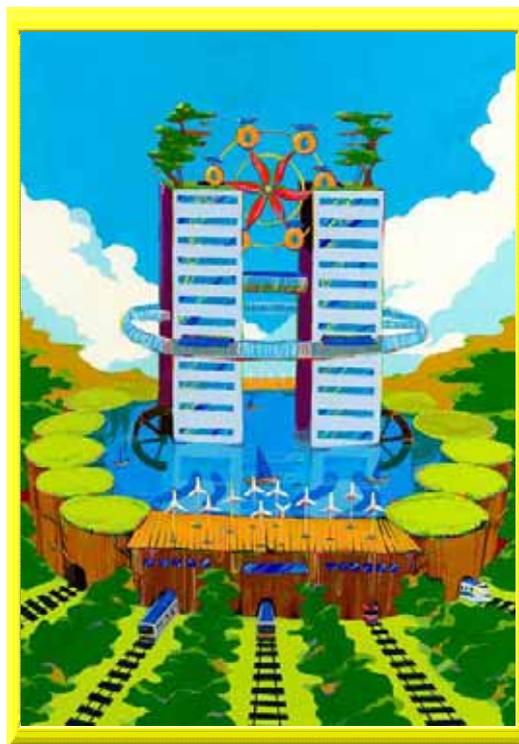
「この絵を見た人が、街のビジョンを鮮明にイメージして欲しくて、あえて文字を加えました。私は田舎育ち、田んぼや虫の音が聞こえていました。そんな要素を少しでも都会に取り入れたくて、川や森、自然エネルギーを活用した街を描きました。」

あいち造形デザイン専門学校  
青木 文美

- 1 夏季にはビルの上から定期的に水の水蒸気を降らせませす
- 2 海や川をまちに流すことで気温を下げるができます
- 3 ゴミや太陽による発電で運航する電車です  
乗車賃はどこまで行っても 100 円です
- 4 ソーラーパネルと木を組み合わせたパラソル
- 5 人の歩行の振動により発電をするパネルを地面に埋め込んでいます



「2つのビルを中心に、木の家々が集まり、この中に名古屋市をつめてみました。市外に行く人が電車を使います。楽しいイメージを出すために、鮮やかな色彩を使いました。温暖化で四季がなくなるのは勘弁して欲しい。2050年、素敵な街が本当にできるのかな？でもできるかも！」



あいち造形デザイン専門学校  
深津 和泉さん

### 3 市民の方から

#### 全体・総論

- ・ 必要な財源の確保を。
- ・ 削減目標に賛成。
- ・ 削減目標 25%以上の目標を掲げるべき。
- ・ 大都市名古屋の責務を果たすことは重要。
- ・ 実現できるのか。「絵に描いた餅」ではないか。
- ・ できるのか、できないのか—ではなく、やらなければならないということと思う。
- ・ 市民一人一人の協力が大切。
- ・ 他都市、国との連携を。
- ・ 今あるものを活用する視点も必要。

#### 風水緑陰生活

- ・ 子どもたちが遊びたくなるような整備を。
- ・ 市民農園を含めて「営農」支援が必要。
- ・ 緑・農地の維持管理は市民参加のしくみを。
- ・ 風の道の再生に向け、堀川の整備・運河沿いの規制が進むことを期待している。
- ・ 雨水の貯留施設や透水性舗装、雨水利用を。
- ・ 緑地帯をつくることで、人気がない夜間など心配。安全対策も行って。
- ・ 駅そばだけでなく、川そば生活も快適です。

#### 低炭素「住」生活～すまい・しごと～

- ・ 「まち・都市の豊かさ指標」は市民参加で「豊かさ」を描く方法もあるので検討を。
- ・ 超寿命・高性能住宅の素晴らしさがよくわかった。普及のための支援策を。
- ・ コンビニの営業時間や労働時間の短縮、自販機の縮小等の推進を。
- ・ 耐震診断に合わせた省エネリフォーム相談を。

#### 市民協働パワー

- ・ 環境教育、市民啓発の一層の充実を。
- ・ 「得する」しくみが必要。
- ・ 地域から生まれる意見や取り組みを支援し、地域で活動できるしくみを。
- ・ 家庭生活の中でできる工夫をいろいろ紹介するといいいのでは。
- ・ 人材育成・・・若い人に余裕があるのか。

#### 駅そば生活

- ・ 駅そばに誘導するためのインセンティブの導入を。
- ・ 交通の便がいい駅そばには高齢者対象の集合住宅地域を作ったらどうか。
- ・ 非現実的な「駅そば」よりも、現在、進められている「低炭素都市 2050 戦略」に矛盾した開発に対して、市は毅然とした態度をとるのが先では。
- ・ 土地の高度利用促進税などの導入を。
- ・ 駅にレンタサイクルなどがあるといい。
- ・ 歩いて楽しく、安全な歩行環境の整備をして。
- ・ 駅が使いやすくなるには、駅前広場、駅に通じる道路などの環境整備が必要。
- ・ 実現には長い時間がかかるため、市民には実現が楽しみになるような未来像を抱かせる工夫を。

#### 低炭素「住」生活～くるま～

- ・ 自動車利用抑制策の具体化を。自家用車禁止区域、駐車場税、通行料などの導入を。
- ・ 自動車流入対策は、商業地域活性化の障害になる。それよりも環状線の充実、バイパス機能の向上を。
- ・ 自転車の利用促進、自転車の走行環境の整備を。
- ・ エコカーがもっと主流になっていくといい。
- ・ カーシェアリングに期待している。
- ・ ちょい乗りバス、次世代型交通システムの普及を。
- ・ 公共交通機関の発達が必要だが、現状、どのように広げていくかが課題だと思う。
- ・ 名古屋の強みを生かした視点が重要。経済、利便性、高齢化社会の進展を配慮し、「車・公共交通・自転車・徒歩のかしこい使い分け」が相応しい表現では。

#### 低炭素「住」生活～地域エネルギー～

- ・ 小型風力発電、燃料電池、バイオマス等の普及促進を。
- ・ 公共施設・商業ビル・新築建物に、太陽電池などの設置義務を設けると新エネルギーの導入が進むのでは。
- ・ 自然エネルギーの技術革新に頼る部分が大きく不安。
- ・ 電力の脱化石燃料の転換促進を。
- ・ 他都市とのクリーンエネルギー連携を。
- ・ エネルギー同様、「食」も自給率を高めてほしい。
- ・ 不用品の再利用、ゴミのエネルギー利用も考えて。